

正 誤 表

鉄と鋼第 51 年 (1965) 第13号, p. 2336~2358 に掲載いたしました技術資料「鉄鋼中の諸性質におよぼす窒素の影響」中, 下記の誤りがありましたので訂正いたします。

| 頁 | 個 所 | 誤 | 正 |
|------|-------------|--|--|
| 2336 | 右側上から 2 行目 | data から総合大体 | data から総合し大体 |
| 2336 | 右側上から 7 行目 | 微量の N α -鉄では | 微量の N は α -鉄では |
| 2337 | 左側上から 3 行目 | Fe ₄ C | Fe ₄ N |
| 2337 | 左側上から 12 行目 | 飽和固溶として | 飽和固溶体として |
| 2338 | 右側上から 6 行目 | マルテンサイトは図 6 ²⁾ に示すごとく | マルテンサイトは図 6 ⁷¹⁾ に示すごとく |
| 2338 | 写真 1 および 2 | 写真 1 と写真 2 が入れ代つている | 写真 1 と写真 2 を入れかえる |
| 2339 | 図 8 の中 | Fe-C ¹²⁾ 純鉄の Ms 点 ¹⁶⁾ 純鉄の Ms 点 ¹⁸⁾ | Fe-C ⁷²⁾ 純鉄の Ms 点 ⁷³⁾ 純鉄の Ms 点 ⁷⁴⁾ |
| 2339 | 図 9 の中 | 純鉄 ¹⁶⁾ 純鉄 ¹⁸⁾ Fe-C ¹⁰⁾ Fe-C ²⁴⁾ | 純鉄 ⁷³⁾ 純鉄 ⁷⁴⁾ Fe-C ⁷²⁾ Fe-C ⁷⁵⁾ |
| 2340 | 左側下から 6 行目 | 恒温状態図 | 恒温状態図 |
| 2343 | 図 22 | 窒素時間による硬さと深さとの関係 | 窒化時間による硬さと深さとの関係 |
| 2344 | 表 4 の中 | N γ (f.c.c.) 0.991 C α (b.c.c.) 0.22 | N γ (f.c.c.) 0.0991 C α (b.c.c.) 0.02 |
| 2344 | 右側下から 7 行目 | Q を C を比較の上で | Q を C と比較の上で |
| 2345 | 左側上から 5 行目 | 各電解液について E_{M}^{MN} を | 各電解液について E_{m}^{MN} を |
| 2346 | 左側下から 2 行目 | たものである ¹⁸⁾ | たものである ²³⁾ |
| 2346 | 左側下から 7 行目 | 以上に急速に粗大化し | 以上で急速に粗大化し |
| 2348 | 左側下から 1 行目 | Dijkstra ⁴⁵⁾ | Dijkstra ⁴⁶⁾ |
| 2349 | 左側上から 12 行目 | する. N の溶解度に対して | する N の溶解度に対して, |
| 2351 | 左側上から 12 行目 | 2700~3400 cal/mol | 27000~34000 cal/mol |
| 2353 | 右側下から 18 行目 | 鋼の腐食を増すのが普通である | 鋼の腐食を増すのが普通である |
| 2353 | 右側下から 13 行目 | N の影響を示すもので | N の影響を示すもので |
| 2355 | 表 7 | Si 鋼における N の影響 | Si 鋼における N の影響 |
| 2357 | 左側上から 1 行目 | 鋼の応力腐食われを | 鋼の応力腐食われを |

追加文献

- 71) 今井, 泉山, 土居: 金属学会誌, 29 (1965), p. 1047
 72) M. COHEN, E. S. MACHLIN, V. G. PARANJPE: Thermodynamics in Physical Metallurgy ASM, (1950), p.242
 73) A. GILBERT, W. S. OWEN: Acta Met., 10 (1962), p. 45
 74) M. J. BIBBY, J. G. PARR: J. Iron and Steel Inst.(U.K.), 202 (1964), p. 100
 75) 金沢, 中島: 富士製鉄技報, 11 (1962), p.304